



上段左/「一月」 上段右/「鳥海残雪」 下段左/「しろつめくさ」 下段右/版画を摺る池田修三

版画で魅せる花・人・秋田

ごあいさつ

平福記念美術館は今年で開館30年を迎えます。その記念すべき年度初めの企画展として、秋田県にかほ市出身の木版画家・池田修三(いけだしゅうぞう)氏の作品展を開催する運びとなりました。

池田氏の描く作品は、可愛い子供、少女、花などがテーマになっているものがよく知られています。今回その中から、四季折々の花と子どもや可憐な女性、そしてふるさと秋田の風景を中心にした作品を展示します。池田作品を多数所蔵する、にかほ市象潟郷土資料館から多大なるご協力いただき、約2,700点近くある作品の中から厳選した約150点の版画作品をご紹介します。また、池田氏の版画作品が仕上がっていく過程を知ることができる貴重な資料作品も展示します。

ふるさと象潟をこよなく愛し、「広報きさかた」の表紙を手掛け、新庁舎落成時には作品を提供するなど郷土への貢献は大きく、平成元年に象潟町功労者として表彰されました。

郷土愛に溢れた、池田氏の優しい眼差しで描かれた版画作品をぜひこの機会にお楽しみください。

最後に今展覧会開催にあたりご協力賜りました関係機関各位に心より感謝申し上げます。

平成30年4月吉日



池田修三(いけだしゅうぞう 1922-2004)

大正11年4月30日にかほ市象潟町生まれ。旧東京高等師範学校(現筑波大)芸能科卒業後、由利高校、聖霊学園の教師となる。昭和30年に退職して上京し、木版画に専念する。初期12年間モノクロ版画を経て、多色刷りに移行。主なテーマは子どもたちの情景で、晩年は風景画も手掛けた。国内の版画展で入賞したほか海外の版画展にも数多く出展し好評を得た。個展は全国主要都市で行われ、企業のカレンダーやテレフォンカード、単行本の装丁等にも作品が使われている。平成16年11月10日死去。享年82歳。



★桜まつり期間中(4/20~5/5)駐車場は有料となります